

事業者名	岐阜県								
機器名	汎用フライス盤								
機器写真									
特徴・用途	金属等の素材を回転する工具により切削加工するための工作機械。依頼試験用試料の作製、研究用治具の作製、NC加工前の荒加工などに使用する。								
設置場所	岐阜県工業技術研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 25年1月	3	2					1	3
	H 25年2月	8	7					1	8
	H 25年3月	6	4					2	6
	H 25年4月	3	3						3
	H 25年5月	3	3						3
	H 25年6月	8	5					3	8
	H 25年7月	5	4					1	5
	H 25年8月	5	2					3	5
	H 25年9月	4	4						4
	H 25年10月	4	3					1	4
	H 25年11月	5	4					1	5
H 25年12月	1	1						1	
利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで試験を依頼すると、結果報告を受けるまで7～10日かかっていたが、新規汎用フライス盤の導入後は2日間あまり短縮できていると感じている。ありがたい。</li> <li>・今度のフライス盤にはNC機能もあり、複雑形状の加工も可能とのことから、試作部品作製など機会があれば使用したい。</li> </ul>								
研究開発事例等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼試験では、金属組成分析用の切りくずの作製、試料の分析部位の切り出し作業、分析のための欠点等部位の削り出し、表面分析のための前加工処理等を実施している。また、物性評価を行うための固定治具作製を行っている。</li> <li>・研究では、チタン合金やCFRPなど難削材の切削加工実験を行う際に固定する治具製作等に利用している。</li> </ul>								
補助事業概要の広報資料	<a href="http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-026koho.pdf">http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-026koho.pdf</a>								

事業者名	岐阜県								
機器名	振動式自動研磨機								
機器写真									
特徴・用途	電子顕微鏡等により金属等試料表面を観察する際に加工時に与える歪みを蓄積させることなく平滑に研磨する。								
設置場所	岐阜県工業技術研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 25年1月	7	3				2	4	9
	H 25年2月	4	4						4
	H 25年3月	4	2	1			1	1	5
	H 25年4月	5	4					1	5
	H 25年5月	1	1						1
	H 25年6月	2	1				1		2
	H 25年7月	3	1				1	1	3
	H 25年8月	3					1	2	3
	H 25年9月	3	4						4
	H 25年10月	5	3	2			1	1	7
	H 25年11月	6	2	1			2	2	7
H 25年12月	4	3				1		4	
利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動で簡単にきれいな平滑面が得られること、それにより高精度な分析ができるようになり、これまで原因を特定できなかった課題の評価が可能となった。</li> <li>・EBSD分析が安価(数～10分の1程度)でできるようになったのが非常にありがたい。</li> <li>・ごく薄い最表面のメッキ層や硬化層を、断面側から観察・分析したり、硬さを測定したりするのに困っていた。装置が導入され、適切な試料調製ができるようになったのはありがたい。</li> </ul>								
研究開発事例等	<p>・企業の方から、「転造加工でネジを作るための原材料棒のロットが変わったら加工しにくくなった。」との相談があった。加工しやすいものと加工しにくいものの2種類について、本事業で導入した装置で加工し、結晶組織や内部歪みを評価した結果、結晶の大きさや内部歪みの状態に違いがあることが分かった。これは原材料棒の製造方法が変わったことを示唆しており、これが転造加工のしやすさに影響していることが分かった。これは導入した装置により、試料にダメージを与えることなく加工できるようになったことで初めて得られた知見である。</p>								
補助事業概要の広報資料	<a href="http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-026koho.pdf">http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-026koho.pdf</a>								